

[書評・コラムを読む](#) / [コラム別に読む](#) / [著者に会いたい](#)

[著者に会いたい](#)

みんなで作ろう学校図書館 成田康子さん

[文]西秀治 [掲載]2012年03月18日

ツイート

おすすめ 4

BI 4

G+1 0

■生徒がたくさんいる場所に

約30年間にわたる学校司書としての体験を1冊に凝縮した。学校司書とは「学校の図書館にいつもいて、生徒と本選びをしたり、本を紹介したりして、生徒が本に親しめるようにする仕事」と言う。現在は、北海道の札幌南高校で働いている。

「図書館では本を読まなくてもいい」「用がなくても行ってみたくなるところに図書館を变身させる」。読書や自習の場という既成の考えを覆すような言葉がポンポン飛び出す。「人がたくさんいる図書館にしたい」という思いがある。

そのための創意工夫には、目を開かされる。廊下に「図書館はあちら」と女子生徒が方向を示しているイラストを張った。色とりどりのやわらかな椅子を配置した。座ったり寝転がったりできる木製のベンチも。囲碁・将棋コーナーまである。「四面書架」という図書館だよりも発行してきた。さながら演出家。

毎朝7時に来て、図書館を開ける。本や新聞、雑誌を読みに来る生徒がいるからだ。札幌南高校に赴任したのは2年前。昨年度の貸出冊数は2千冊。その前年度は800冊だった。いま、1日に全校生徒の1割にあたる約100人がやってくる。「本はいつから読み始めてもいいと思いますが、中学までにきっかけがなかったら、高校からであってほしい」と願う。

今年の卒業式の日、女子生徒から手紙が来た。「先生にはわたしたちの気持ちを前向きにする押しつけがましくない、強力なパワーがあります。ふにゃふにゃくたくたな自分を肯定できるようになりました」

いつも生徒たちに掛ける言葉がある。「また、おいでね」

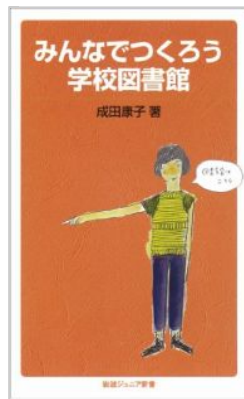


岩波ジュニア新書・861円



拡大画像を見る

成田康子さん(56) = 上田幸一撮影



著者:成田 康子 出版社:岩波書店 価格:¥ 886

- [ブック・アサヒ・コム書店](#)
- [Amazon.co.jp](#)
- [楽天ブックス](#)
- [紀伊國屋書店ウェブストア](#)
- [TSUTAYA online](#)

この記事に関する関連書籍

[みんなで作ろう学校図書館 \(岩波ジュニア新書\)](#)

新聞購読のご案内 朝日新聞 会社案内・事業紹介

東宝文庫創刊40周年特別企画「岳飛伝」刊行開始記念トークライブ

北方謙三 × 綾小路 翔(報志園)
「荒くれ者たちへの憧れ - ロックンロール梁山泊 -」

12月6日(四) 19:00~21:00 (18:00開場) 丸ビルホール (東京丸の内)
[主催] 丸英社 朝日新聞社メディアビジネス局 朝日新聞社メディアビジネス局

企業・制作 朝日新聞社広告局 BOOKasahi.com

今日のサマソヤハツ 朝日新聞の小冊出版広告

[ひもとく](#)

[悩んで読むか、読んで悩むか](#)

[文豪の朗読](#)

[文庫の新刊!](#)

[売れてる本](#)

[著者に会いたい](#)

[ビジネス](#)

[コミック](#)

[話題の新刊\(週刊朝日\)](#)

[ベストセラー解説\(週刊朝日\)](#)

[子どもの本棚](#)